

7月30日(木)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

熱演を聴いて、暑さを吹き飛ばそう!



7月29日(水) 東京フィルハーモニー交響楽団 撮影：青柳聡

川崎駅に降りると、高い湿度の空気が身体にまとわりついて来た。「フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2015」の第4日目には東京フィルハーモニー交響楽団が登場した。指揮は尾高忠明。ホールの中の空気が冷たく、汗がようやくひいて行くのがわかった。

第1曲目は武満徹の「波の盆」。ハワイの日系人たちを描いたテレビドラマの音楽を、後に演奏会用組曲として作曲者自身が編曲したものだ。ジャズ的な和声、アメリカ音楽の雰囲気を感じさせる部分もあるが、うねるような弦楽器の動きが

印象的な音楽である。第2曲目はロシアの作曲家グリエールの「ホルン協奏曲」。1951年に初演された作品だが、音楽的には現代曲というより後期ロマン派のような印象である。実際の演奏を聴くのは初めてだったが、独奏のホルンはかなり難しいテクニックを使っているようだった。独奏を担当したのは北ドイツ放送交響楽団の首席奏者を務めるイエンス・プリュッカー。大きな人である。そしてホルンで長いフレーズを吹いているうちに、どんどん顔が赤くなって行く。滑らかな音色、素晴らしいテクニックに

会場からはブラボーの声。後半はチャイコフスキーの「交響曲第5番」が演奏された。最後のクライマックスに向けて、だんだん温度が上がって行くような熱演。外の暑さのことなどはすっかり忘れてしまっていた。夏の暑さを吹き飛ばすには、熱い演奏と一体となることが一番早道なのかもしれない。

音楽ライター 片桐卓也



マエストロ：尾高忠明
ホルン：イエンス・プリュッカー
終演後、お二人からサインをいただきました。

7/29 東京フィルハーモニー
交響楽団

お客様の声から♪

精魂尽き果ててのアンコールなしも納得の熱演に心からのブラボーを(50歳・カメラマン・しのび) / プリュッカーさんの名人芸が最高。最強音から最弱音まで安定した音色で感動(61歳・無職・M.Y) / 「波の盆」は1983年のTV放送に感動し、タケミツ・トーンのとりになるきっかけになった曲。素晴らしい演奏でした(56歳・自営業・K.M) / 波の盆でクールダウンしてホルンに癒されチャイコフスキーで燃え尽きました!(匿名) / プリュッカーさんはもちろん、オーケストラのホルンもとても美しいハーモニーで感動しました(17歳・高校生・きざみのり)

19歳の気鋭レビューー拓やん、サマーミュージックを往く!

名匠・尾高忠明と東フィルの蜜月 東京フィルハーモニー交響楽団



平岡拓也・大学生(19)

絶賛を博した7月定期の「悲愴」、マーラー9番に続き、黄金コンビがサマーミュージックでも実現。両者の蜜月を強く印象付ける、忘れ難い公演となった。

冒頭の武満徹「波の盆」では、尾高さんの両手から滋味深い音楽が溢れ出す。何という温かさだろう。続くグリエール「ホルン協奏曲」では一転、重音やトリルをも交えたプリュッカーの

圧巻のソロとオケが華麗に対峙する。

メインは堂々の十八番、チャイコフスキー「交響曲第5番」。昨年の音大オケフェスでの超名演も記憶に新しいが、また一つ新たな名演が加わった。フォルムを強固に形成しつつ内側で熱く燃える尾高さんの完璧な解釈は、この名曲に対するひとつの「模範解答」と言っても過言ではない。

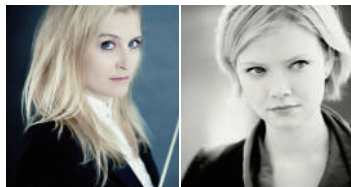
平岡さんのブログ「たくさん聴かな、あかんやん。」 <http://maestroinbal.blog.jp/>

サマーミュージカの後も、まだまだオーケストラ！ ミュージカ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 「名曲全集」

「名曲全集」 注目の公演をご紹介します！

#110 9月27日(日)

#112 11月23日(月・祝)



Patrycja Pieczara



Alina Ibragimova



Jonathan Nott



Emanuel Ax



ミュージカを本拠とする東京交響楽団

この夏ミュージカに響く管弦楽に魅せられた方に、強力にお勧めしたいシリーズがあります。ミュージカを本拠とする東京交響楽団が贈る「名曲全集」。ポピュラーコンサート?と侮るなかれ。オーケストラの魅力を様々な視点から体感できる、本格派のプログラム揃いとなっています。公式プログラムP.88-89で紹介されている「ベートーヴェン三昧」に加え、名ソリストや指揮者が次々に登場します。まず注目は、前期シーズンの締め括りとなる第110回(9月27日)。リサイタルでの絶賛が続く若手ヴァイオリニスト、アリーナ・イブラギモヴァ

が首都圏で初となる協奏曲演奏を披露します。後期シーズンの第112回(11月23日)には現代ピアノ界の巨匠、エマニュエル・アックスが登場。東響音楽監督ジョナサン・ノットとの豪華共演で、管弦楽とピアノの華麗な応酬を聴かせてくれます。ミュージカの極上の音響で聴く、珠玉の名曲の数々。素晴らしい音楽体験が、きっとあなたを待っていることでしょう。

(拓やん)



平岡拓也
大学生(19)



パートナーショップのご紹介

エンジョイ! 川崎!!

Enjoy Kawasaki

天ぷら 銀座ハゲ天

地下街アゼリア
総合プログラムP.94

パートナーショップガイドP.4

川崎駅東口地下街アゼリア「天ぷら 銀座ハゲ天」は、創業87年の老舗。今回注文したのは「盛夏天井」、天ぷら7品(海老2尾・新生姜隠元・ささ身紫蘇巻き・穴子一本揚げ・つるむらさきと玉葱とアオリイカのかき揚げ)、新鮮サラダ、赤



盛夏天井(1,250円(税別))



アイスクリームの天ぷら

だし、お漬物付きで1,250円(税別)、レモンを絞ってさっぱり美味しい。てんぷらは、素材と油と衣の温度が大切ですが、店長みずからお客様のそばで、一つ一つ丁寧に揚げられています。サマーミュージカのチケット提示でついてくる、人気の

デザート「アイスクリームの天ぷら」は、さくっとした衣に冷たいアイスがとろけ、うまさ抜群です。

スタッフのおもてなしも良く、コンサートの前後にお勧めのお店です。

(ノリノリ)

NEXT!!

フェスタサマ-ミュージカ

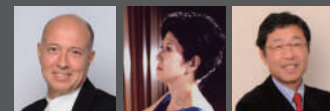
文・オヤマダツシ

8月2日(日) 15:00 開演
新日本フィルハーモニー
交響楽団

指揮・お話：井上道義
オルガン：松居直美*
ゲスト：松井孝典

(惑星科学者、東京大学名誉教授)

ヨゼフ・シュトラウス：「天体の音楽」
サン＝サーンス：糸杉と月桂樹*
ホルスト：組曲「惑星」より



井上道義

松居直美

松井孝典

ききどころ

この人が指揮台に登場すると何かが起きる!と話題のマエストロ、それがミッキーこと井上道義。ミュージカでも6月にモーツァルトのオペラ『フィガロの結婚』を指揮し、センセーションを巻き起こしたばかり。今回、新日本フィルと共に演奏するのは、聴けば夜空を見上げたくなるホルスト作曲の『惑星』だ(7曲のうち5曲を抜粋演奏)。しかも、その惑星を研究している松井孝典東大名誉教授(科学者)をゲストに迎えたトーク付き。夏休みの自由研究ネタを探している子供たちも、これなら満足だ。

動画を公開中!

リハサルの様子やマエストロ・井上氏による聴きどころも見られます!
http://youtu.be/_0sTeW5pQ5o



S: 4,000円 A: 3,000円 B: 2,000円
学生券(25歳以下)各席半額

7/31 洗足学園音楽大学、8/1NHK 交響楽団の公演は好評につき全席完売となっております。

友の会キャンペーン実施中

サマーミュージカ期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージカオリジナルチケットホルダーをプレゼント!(~8月9日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

友の会会員カード提示で
ミュージカ川崎駐車場
1時間無料サービス



詳しくは友の会入会カウンター(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

ホール内
ショップで発売中

●サマーミュージカ
チケットホルダー
640円(税込)

チケットだけでなくA4チラシ
三つ折りも入ります。便利!

当日の感動をすぐお届け!!
毎日
日刊サマーミュージカ
Hobo Nikkan Summer Muza

毎月
7月



経営管理課
いよ

スタ
ッ
プ
日
誌